

ロータリーは
機会の
扉を開く



さのや金物 (画: 清水喜輝氏)

WEEKLY REPORT

No.2989 2020年7月13日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

四つのテスト
 The Four-Way Test
言行はこれに照らしてから
 Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
Is it the TRUTH?
2. みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP?
4. みんなのためになるかどうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned?

★ 点 鐘

磯崎 孝会長
 ロータリーソング「奉仕の理想」
 司会：遊座文郎 SAA

★ ビジター紹介

小松満第2分区ガバナー補佐
 海野洋一第2分区セクレタリー

★ 会長挨拶

磯崎 孝会長



現在、例会場も定まらず、こういった形での例会となっております。

全国的に新型コロナの猛威が襲っております。東京では100名以上の感染者が毎日の様に報告され、変な思いをされていると思います。それを第2波・第3波とも捉えかねない状況でございます。

本日は小松第2分区ガバナー補佐にお越し頂きました。私が余り長い話をしてもと思いますので、本年度のロータリーの話も含めましてお話しを頂戴したいと思います。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

★ 出席報告

川崎通夫幹事
 会 員 数 24名
 出 席 者 14名
 欠 席 者 10名
 出 席 率 58.3%

★ 委員会報告

ニコニコボックス委員会
 小松満第2分区ガバナー補佐…本日はよろしくお願ひいたします。
 磯崎孝会長…小松ガバナー補佐、1年間よろしくお願ひ申し上げます。
 川崎通夫幹事…小松ガバナー補佐、1年間よろしくお願ひ申し上げます。

★ 「やさしい日本語講座」について
 はじめに

遊座文郎前会長
 「やさしい日本語講座」については昨年度3クラブ合同で企画しました。本講座の趣旨としましては「我々」が「やさしい日本語」を話す、

身に付けることで日本語に不便を感じている在住の外国の方に、少しでも相互理解を深めようということです。

趣旨に則り講演会を企画しましたが、残念ながら新型コロナの感染拡大で3月5日予定の講演会は中止となってしまいました。結局、前年度はそれ以降、何も出来ませんでした。今年も「コロナ」の影響はあるとは思いますが、別な企画でこの事業を進めて行けたらと計画しております。その計画を海野セクレタリーにお話して頂きたいと思っております。それではよろしくお願いいたします。

海野洋一第2分区セクレタリー



ご紹介にあずかりました海野でございます。

実は前年度3クラブ合同で企画をしました。経緯は先程遊座前会長が述べられた通りでございます。そこで、ひたちなか市国際交流協会が主催しております「やさしい日本語教室」というのがございました。那珂湊RCからは1人¥2,500、その会員数です約7万円近く頂きました。昨年からの継続事業として今年もこれを実行したいということです。

実は6人程待っている方がおります。開催形式は、先生が2人、生徒は6人です。そこには小さいお子さんも沢山いらっしゃるの、お子さんを見る人員も必要になります。その様な形で約2時間、それを10日間、約2ヶ月にわたってテキストを使つての講義です。私達が話している日本語は、在住の外国の方には非常に難しい日本語らしいです。私達は何も抵抗なく話していますが、彼らにとっては「何を話しているのか、さっぱり分からない」日本語なのだそうです。それを簡単な日本語で置き換えるようにしています。それは幼稚園生に教えるぐらいの日本語を使います。そういった勉強会をやっているのですが、新年度にその事業を継続したいということです。もしよく分からなければその講師に例会に来て頂き説明をしてもらおうと思っておりますが、お1人様約¥3,000、ご協力よろしくお願いいたします。

勝田クラブとしては、これを拡大いたしました1人¥4,000～¥4,500として関わるようにし

たいと思います。本来であればそれで出来ていたのですが、お子さんを見る人がいなくなつてしまいました。ですので昨年より¥500ほどアップしてお願いできないかということです。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

★ ガバナー補佐挨拶

小松満第2分区ガバナー補佐



皆さんこんにちは。勝田RCの小松です。ガバナー補佐の順番が勝田に回ってきた時、理事会では「忙しくて出来ない」という人ばかりで、最後に昨年度会長をやった私のところに来てしまいました。ということでガバナー補佐になったという次第でございます。

6月、既に第1回の会長幹事会をやりました。先週最初の東海那珂クラブ訪問で、私は「今年はよろしくお願いいたします」程度の挨拶で終わるのかと思ったら、東海那珂クラブから「30分お話しをお願いします」と言われて急遽資料を作成と、こんなことになってしまいました。次の大洗クラブでは「長くやらなくても大丈夫です」と言われ本来の挨拶だけになりました。本日は折角作ったものですので、申し訳ありませんがぜひ見て頂きたいと思っております。それでは早速始めたいと思っております。

先程那珂湊RCの会長の挨拶を読ませて頂きました。そこでも触れられていたクナークRI会長と池田ガバナーの話を中心に話を進めさせていただきます。

まずガバナー補佐というのは、ガバナーと各クラブを繋いでいくといった役割だと言われております。以下スライドの通りです。

ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度例会「キルカー・クナークのテーマ」

ロータリーは、育った環境、世代、

言葉、文化の異なる人々の集まりからなる

多様性がロータリー活動の源

次はクナークRI会長の本年度のテーマ。これを考えてみました。私が思うにこれは「多

様性」のことを言っているのかなと思いました。国際ロータリーとは人種や育った環境や文化、言葉、それから世代という色々な人たちが集まった多様性に富んだ組織なんだということです。その様な多様性を基にして、色々な人と知り合い奉仕の理想を広げて行く、これがロータリーの姿なんだと言っているのだと思います。ですから多様性というのがロータリーにとっての活力、活動の源であると思います。日本では余り多様性ということでは言われてなかったのですが、最近ではLGBT、性的少数者の問題から一気に問題が取り上げられました。昨年のラグビーワールドカップの日本の選手31人中15人は外国出身でした。日本が活躍したことは勿論ですが「ワン・チーム」ですか、どこの出身の選手であっても一つのチームとしてプレーできる、これをきっかけに多様性という問題が日本でも理解される様になったのではないかと思います。

ロータリアンのイノベーション・磨こう人間力

池田ガバナーの地区スローガン

デジタル革命は予想を超える打撃をもたらした
ロータリーは十分な対応がとられていない
ロータリーは革命的に変わらなければならない
古き良き時代を懐かしがっている若者がついてこない

次の池田ガバナーのスローガンです。

この「デジタル革命」というのは日本ではかなり遅れているとガバナーは言っております。ロータリーも十分な対応は取られていないという認識であります。ですのでロータリーは革命的に変わらなければならないということです。勿論RIでも同じ様なことを言っています。「古き良き時代」を懐かしがっている若者は付いて来ません。会員増強をするのだけでもこのままでは若者は入会しません。そこをまずは改革していかなければなりません。

RI ロータリークラブ第2820地区戦略計画

地区ビジョン

地区内ロータリークラブが、ロータリーの目的を理解し、**中核的価値観**を基に個性あるビジョンを持ち、**多様性と柔軟性**を備えた活力あるクラブを目指し、地域社会や世界社会に良い変化をもたらすために活動するよう支援する

次は池田ガバナーの今年度地区戦略、計画ですね。ここの奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップといった中核的価値観をもとにして、更に多様性には柔軟性を加えます。この柔軟性という言葉が非常に大事だと思います。日本のロータリーと国際ロータリーの間に大きなギャップがあるのは、その柔軟性に問題があったと思うからです。後でこの柔軟性についてはお話ししていきたいと思っています。

ロータリーの目的

意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある

次はロータリーの目的です。意義ある事業の基礎としての奉仕の理念ですね。奉仕の理念を推奨してこれを育むこととされてきています。これがロータリーの目的なのですが、非常に難しい。国際ロータリーと日本ロータリーとで違いがかなり出て来ています。

会員基盤強化の支援

会員増強:3年後に2,150人(純増50名)(3年間)
リーマンショック以上の新型コロナショックでおそらく難しい
会員の維持:退会者を出さない
衛星クラブ・Eクラブの設立
現在のクラブを維持するのに大変、余裕があるのか
東京などでは空席待ちとのことであらやましい

今年度の重点目標として、これは常に言われる「会員基盤の強化」です。各クラブで会員数が非常に減少しています。これを日本のロータリーとして支援していかなければなりません。会員増強は3年後に2,150人を目標、年間50名としています。とはいいますが私どものクラブ、昨年入会1人、3人が退会しました。結局2人減です。昨日の大洗クラブではこの3年間に16人も退会された、ほぼ4割だそうです。現在は会員は18人です。この様にどこも苦勞されている。ただこの「新型コロナ」の影響で、果たしてこの次期、新入会員が獲得できるのかということは非常に疑問です。そこで出来ることは「できるだけ退会者を出さないこと」ですが、これもなかなか難しいと思います。そういった印象を感じます。更に衛星クラブ、Eクラブの設立ですが、新しく作るのはやはり難しいのではないのかと思います。

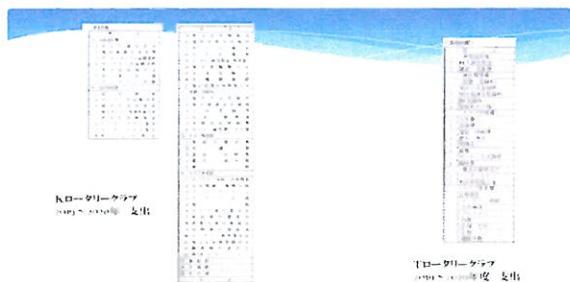
クラブの多様性と柔軟性の増進

クラブ運営の簡素化と奉仕プロジェクトの充実
プロジェクトの見直し。漫然と継続しない

複数クラブでプロジェクトを進める

次の「クラブの多様性と柔軟性の増進」です。多様性は先程も触れましたが、柔軟性、国際ロータリーは柔軟性を持ちすぎているのではないかと思います。この中では「クラブ運営の簡素化と奉仕プロジェクトの充実」とあります。これはクラブの事業を一度見直すべきではないかということです。勝田RCでは私が会長の

時に見直してみました。そこで5つの事業を廃止、2つの事業を新しく始めました。先程の「やさしい日本語講座」もその1つであります。5つの廃止した事業のうち、1つの事業はクラブが創立時から続けていた事業でした。その事業はいつの間にか現況報告者にも載らなくなった様な事業でした。この様に漫然と続けていくことなく、積極的に見直していかなければならないことだと思えます。しかしその事業を最初に立ち上げた会員が在籍していると、なかなか辞めましようと言うことは難しいと思えます。ですが、やはり時々は見直すこともしていかなければならないと思えます。それから「複数クラブで事業を進める」ですが、これも「コロナ」で中止に追い込まれた「チーム推進研修会」がリモートで行われ、その時参加したガバナー補佐（8人）のうち3人が複数クラブで事業をやったと報告されていました。第2分区の私もその一人でした。先の通り最近会員が少なくなり、会員が多かった頃の事業が継続できないクラブが多くあります。ただひたしな市の湊クラブを中心とした勝田・ひたしなクラブは合同事業が現在3つあります。この部分では、先進的と言って差し支えないかと思っています。



次はクラブの簡素化の例を挙げました。これは私どものクラブで「会計報告の項目が多すぎる」との指摘がございました。たまたま東海那珂RCの現況報告書を見たら30項目でした。勝田クラブは57項目もあります。これでは会計が大変です。こういった例年踏襲で無駄と思われることが、他にもあると思えます。クラブ内の簡素化を是非お勧めいたします。

公共イメージと認知度の向上

ロータリーは意義ある活動を行なっているにもかかわらず、それが認識されていない
↓
最優先課題「ポリオ撲滅活動」は市民に理解されているか

次の「公共イメージと認知度の向上」、これも重点項目に入っています。ロータリアンの活動が世間一般に認知されていない、これは多くのロータリアンが感じていることと思えます。ロータリーの最大の事業というのは「ポリオの撲滅活動」です。私は医師ですからこれ

がいかに大変事業であって、いかに困難なことであるかは分かります。今までこの世界で感染症を撲滅したのは天然痘しかありません。ポリオを撲滅したら凄いことなのです。ただこれを一般の人々に理解しろというのは無理な話だと思います。なぜなら「ポリオ」の患者さん日本にはいません。日本は関係ないで終わってしまいます。ですのでこれをトップにしていかに一般市民にロータリーは意義ある活動をしているんだと訴えかけても無理だと思います。

RIと日本ロータリーの乖離

職業奉仕 : 会員個人とクラブ双方の責任

例会と出席 : メークアップは年度内に変更

会員身分 : 職業分類の撤廃

これからが池田ガバナーが革命的に変えなければならないと言っている部分のお話です。国際ロータリーと日本ロータリーとのギャップですね。大きく3つあると思えます。

「職業奉仕」「例会と出席」「会員身分」です。まず「職業奉仕」というのは会員個人が行うべきとされています。しかし現在の国際ロータリーでは会員とクラブの両方の責任でやらなければならないと言っています。次に「例会と出席」です。出席について日本は大変厳しい、RIは出席に対してそれほど関心を持っていないと思えます。メークアップは14日間だったものを1年間通してとなりました。このことからRIは余り出席に関しては関心がないと言えるのかと思いました。1年間に延ばしたということでは一つに退会者を減らしたいということではないかと思えます。出席規定が厳しく日数を満たせないから退会する、という事例があるからかもしれません。それから「会員身分」、これが一番大きいです。職業分類を撤廃します。職業を持たない人も会員になれます。この3つが国際ロータリーとのギャップだと思っています。

RIの職業奉仕とは

職業奉仕は、事業及び専門職の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を實踐していくという目的を持つ。

会員の役割は自分自身を律し、事業を行なうこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること

それで職業奉仕の内面も、今の国際ロータリーの職業奉仕は理念と実質を求めています。しかしながら日本のロータリーは余りに理念に偏りすぎている気がします。実労することをボランティアではないかという人もいます。国際ロータリーの提唱していることと少なからず乖離しています、求められているのは実働ですから。

そこを認めていかないといけないのではないかと
思っています。

どちらの人を信用しますか

- A. 職業奉仕に日常的にいそむが、
その他の本任にはそれほど熱心でない人
- B. 寄付やボランティアなどの社会奉仕を活発に行うが、
職業ではクレーゾーンの利己的な金儲けをする人

次ですけれども、毎年1月のロータリーの友に
職業奉仕月間ということで特集が組まれます
が、これは2年前のものです。どちらが人に信用
されるという問題です。これに対して私も非常
に悩みました。上の例は「熱心でない」と
入っていますし下の例では「利己的な金儲け」
とあります。これに対し著者は「A」を正解に
しました。これを見て私はAはロータリーのこと、
Bはライオンズのことかなと思いました。

皆さん、奉仕活動に苦悩し、思い悩む姿を
見せますか。極めてこの文章はおかしいと思
いませんか。その様なことを奉仕活動をして
いて誰も思いません。「私はこんなに苦しんで
思い悩んで奉仕活動をしています」それはあり
えないでしょう。これがロータリアンだとい
う人がいる訳です。



次の本、これは私がロータリアンになって読
みまして、大変参考になった本です。小堀憲
助さんが書かれた本です。私はロータリーに
ついてよく書いてある本だと読ませて戴きま
した。残念ながらこの本、絶版で今はまず手
に入りません。

ライオンズは団体中心の単一的奉仕

ロータリーは個人中心の頭腦的かつ複合的奉仕

この中で非常にがっかりしたことです。この
様なことが述べられています。いかにもライ
オンズは劣っているんだと言っています。それ
はないと思います。いわゆる奉仕活動の質が違
う、ロータリアンは頭を使っているんだと言
っています。皆さんそうですか？

今熊本で、水害に遭った被災者の方はボラ

ンティアを求めています。しかし「コロナ」の
影響でボランティアはなかなか集まりません。
県内のボランティアでは人手が足りないと言
います。そこへ行って「倫理観を高めて高潔
な人間になります、素晴らしいことをしまし
ょう」と言ったところで誰も「なるほど」と
納得しません。そういったことを私はこれか
ら考えていかなければならないと思います。

ロータリーの意味する親睦とは

例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合
いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己
改善を図り、その結果として**本任の心を育むこと**

このような例会における一連の活動のことを「親睦」と呼
ぶ

懇親会やゴルフなどではない

「奉仕」と「親睦」がロータリーの2大項目
です。この親睦の意味が辞書にも載っていない
ロータリー独自の考え方となっています。ここ
には例会に来て集まったメンバーと色々な話を
して、自分の仕事の参考にする、自分の人生
の糧にすることが親睦だと言っています。これ
も自分達の枠内の考え方ですので、会員以外
に理解しろとはなかなか難しいと思います。

決議23-34第6条

本任活動の原則は**個人本任**であり、
クラブの行なう活動はサンプルに過ぎない

1987年RI理事会は
職業奉仕は会員個人とクラブ双方の責任である、
と変更した

どこが問題かと言いますと「決議23-24」に
とらわれすぎていると思います。決議23-24に
ついては皆さんご存じだと思います。この決議
に対して国際ロータリーは2008年にロータ
リー章典から削除しました。なぜかというこの
文言に対して色々質問が来るので、面倒に
なり削除したというのが本当のところらしいで
す。この決議に対して日本ロータリーは「原点」
として考えているようですから、強硬に反対し
ました。その結果、文言が復活はしましたが、
経緯を考えて国際ロータリーはこの決議をそれ
ほど重視していないことが分かると思います。

RIと日本ロータリーとの乖離

日本のロータリーのリーダークラスは、
決議23-34にとらわれすぎているのではないかと

2008年RI決議23-34をロータリー章典から削除した
出席率、出席率が高いクラブが活動しているとは限らない
職業、職業のない会員でも問題がない

日本のロータリーがこだわって、これがロー
タリーだと言って来たことを、国際ロータリー
ではことごとく変えてきています。ただ革命的

な改革をしなければならないと池田ガバナーが言っておりますが、これをどのようにしていくかが大きな問題となってきます。

その「決議 23-34 条」第 6 稿にはこうあります。「クラブのやることは個人に対して「実例」として示し、実際は個人単位で奉仕活動をしてください。」それを 1987 年の R I 理事会で変更をしました。団体（クラブ）でも奉仕活動はしていいよとした訳です。この辺についても日本のロータリーとしては非常に不満のあることだと思います。

2019年規定審議会

提案理由

今後、職業を持たない会員のみで構成されたクラブが創設されること想定される

R I理事会の回答

制限を拡大する事と、ビジネスとプロセッションを重要視することは日本の伝統かも知れない、しかし、クラブで職業を持たないメンバーで構成される懸念の発言があったが、**同意は要す**

それで決定的なのは昨年 2019 年の規定審議会です。職業分類の変更項目への反対提案でしたが、「その様なことを言っているのは日本だけだ」とバッサリと切り捨てられました。ここにも大きな R I とのギャップが見られると思います。

新型コロナ感染拡大がもたらしたもの

国の IT 化の遅れ

感染者数の届け出をファックスしていた
世界中の物支いの種になった
定額給付金のオンライン申請の混乱
オンライン授業の格差

ロータリーの危機管理意識のなさが加劇になった

「緊急事態宣言」が発令されようとしているとき
つづけて研修会を開催しようとしていた

昨今の「新型コロナ」でもたらされたものとして国の IT 化の遅れをはじめ顕在化したものが多くありました。ロータリーでも危機意識の低さが感じられる事例がありました。

ロータリアンはすべて平等である

役職も加入年も関係が無い

これは私がロータリーのとてもよい面だと思っております。全て平等でロータリーでの役職や加入年も関係ないというところ、タテ社会ではないというところ。とても素晴らしいことだと思っております。

奉仕プロジェクトのところでもお話ししましたが、ロータリーの基本は個人個人の主体性の任せられている組織であると思います。これはロータリーの良い点であると思っております。ただ今回の様な危急の時には組織として

ロータリーは個々の主体性に任せている

危急の時に組織として対応できない

は対応が出来ません。個人に判断が求められ、クラブとしてあるいはガバナーも組織として決めることは難しいのかもしれませんが、ここにちよつと問題がある様に思います。

日本ロータリーはガラパゴスか？

スマートフォン

携帯電話 通信機器製造企業

固定電話 日本ロータリー

最後になりますが日本の携帯電話、そろそろ無くなりますが「ガラ携」という呼び方をされます。「ガラパゴス携帯」の略です。日本国内だけで通信機器製造企業が機能を高度化させた結果、何時までも携帯電話に縛られて次世代のスマートフォンに移行できなかったといったことです。日本のロータリー、どうでしょうか。私は日本のロータリーの組織はガラ携どころか固定電話並みの段階で止まっている様なそんな気がします。そこを改善していかなければ携帯電話の様な道を辿ってしまう様な気がしてなりません。



これでも、
まだつづいで研修会を
やりますか？

最後にこれは 7 月 11 日付の茨城新聞です。この期に及んでもまだロータリー財団の研修会を止めるといった通知は来ておりません。今つくばに行って、高齢化甚だしいロータリアンが研修会に行き集まったらどうでしょうか。考えなければならないと思います。時間を過ぎておりますので、この辺で終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。